平成29年度第１回大阪府環境審議会温暖化対策部会　議事概要

**１．日　時：平成29年４月17日（月）　16時30分～18時30分**

**２．場　所：大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）29階会議室**

**３．議　事：気候変動の影響への適応について　【資料１】**

**大阪府地球温暖化対策実行計画の対策指標について　【資料２】**

**大阪府内の建築物環境配慮制度について　【資料３－１～３－３】**

**４．委員からの意見要旨**

**（１）気候変動の影響への適応について**

**【委員】**

**○**下記の点について、意味は変えなくていいが文章の整理が必要と考える。

* 序文について、「適応」と「緩和」の記述の流れの整理が必要。
* 「適応」の説明はIPCCの資料を政府が意訳したものを抜粋していると思うが、意味が変わらない程度に府民の方が分かりやすいよう修文してはどうか。
* 高潮リスクを有するエリアについては、海岸沿いだけではなく淀川沿岸の内陸部にも入り込んでいることを明記してはどうか。
* 気候変動の将来予測は、温室効果ガスの排出量が多くなるA1Bシナリオを採用している。このシナリオを使用している理由は、適応を推進する上で予防の観点から、想定されるリスクをできるだけ高く見積もるためであることを記載してはどうか。
* 適応の意義（p20）の部分で「身近で起きる気候変動の影響」とあるが「身近」に限定するべきではない。例えばビジネスリスクを考えた場合、タイで起こった洪水でサプライチェーンが止まった例があるように間接的な影響も考えられる。

　　**○**大阪府において求められる取組み（p27）について、熱中症で救急搬送される方は年

間3,000人以上となっており、重篤者や死亡者も出ている。大阪府にある環境問題の中でこれだけの健康被害が出ている問題はないので、スピード感を持って取り組む表現があっても良いのではないか。反面、熱中症による重篤者や死亡者についての年齢層・発生場所等のデータがないので、その調査を行い、それに即した対策を行うべきではないか。また高温化の対策として、ヒートアイランド対策の推進に言及しているが、都市の気温を下げる対策（緩和）は時間がかかってしまう。熱中症の問題とは時間スケールが違うことは意識しておくべき。

**○**高齢化が寄与している一面はあり、今後は室内での熱中症が多くなっていくのではないか。

**○**現在でも水を飲む・冷房をつける等の対策の広報はされていると思うが、高齢者の方

に向けた広報をしっかりする必要があるのではないか。また屋外であればクールスポ

ットの整備は必要になる。

**○**温度があがるという点では、一般論としての記載が良いと思う。

**○**結語の国際拠点は空港や港湾の意味だと思うが、国際拠点だけだと色々意味でとらえ

られてしまう。もう少し丁寧な表現が必要ではないか。

**○**p16にさくらの開花日の図があるが、熱中症やデング熱等のマイナスの事例がある中で少し違和感がある。

**○**生態系を考えると大きな変化が起こっているのかも知れないという内容の文章を入れてほしい。

**（２）「大阪府地球温暖化対策実行計画」の対策指標について**

**【委員】**

**○**合成繊維くず比率64.1％の意味は。

**【事務局】**

計算値になるが、全体のごみの中で繊維くずが6.65％混入しており、その繊維

くずのうちの64.1％が合成繊維くずに該当するということを表している。

**【委員】**

**○**変更案の廃プラ比率はいつの時点か。

**【事務局】**2014年度時点である。

**（３）大阪府内の建築物環境配慮制度について**

 **【委員】**

**○**改正案の「自然エネルギー利用」は、あり・なしで表示するのか。

**【事務局】**

トップライト、自然通風などの取組みを一つでも行っていれば「あり」で表示

する。

　**【委員】**

**○**「省エネ対策」という表示項目はなくなるのか。

**【事務局】**

なくなるが、「省エネ対策」の中にあった6項目のうち3項目が選ばれて特化

して出てくる形となる。

**【委員】**

**○**追加表示については、時代的に新しいものが出てきたら、その都度、項目を追加していくのか。

**【事務局】**

そのように考えている。

 **【委員】**

**○**不動産業界団体からの意見について、配付資料に記載されているもの以外に特筆すべきものはあるか。

**【事務局】**

不動産業界団体にはラベルの具体案を未だ提示していないので、今後、意見を

聞いて調整してきたい。

 **【委員】**

**○**表示が限られたところで書かざるを得ないのは理解するが、重点評価項目から「効率的運用」、「水資源保護」を落とすのには抵抗がある。別の形で見て分かるようにできないか。

改正案では「太陽光発電」の下に「自然エネルギー利用」と書いてあって、重複するので説明が必要ではないか。

**【事務局】**

「自然エネルギー利用」は発電以外の採光や直接利用を指している。

**【委員】**

**○**ラベルの情報が輻輳しているので現場でどこから見ればよいか分かるよう優先順位を付けてはどうか。

**【事務局】**

建物の断熱性やエネルギーの削減が重要と考えている。

 **【委員】**

**○**表示が混在しているので、項目の解説を表示してはどうか。

**○**表示が専門家でないと分かりにくい。府民に伝わるよう文字のフォントを変える、イラストを入れるなど見せ方を工夫してほしい。

**○**ラベルの具体的なイメージができた段階で、今回のご意見に対する回答と合わせて委員に配布していただいて、委員に提示する時間を取ってほしい。

以　上